

藍住町 第94号 議会だより

平成30年8月25日

6 月定例会

町からの主な報告	P. 2
一般質問 ～町政のここが聞きたい～	P. 3～8
わたしの一言・議会のうごき	P. 10



6月議会定例会が6月5日から19日までの15日間の会期で開会され、下記の議案について審議しました。

一般質問では6人の議員が登壇し、町政について質問しました。

6月定例会

～議員提案～

- 藍住町総合文化ホール特別委員会委員の辞任 原案可決
 - 藍住町総合文化ホール特別委員会委員の選任 奥村清明
 - 藍住町議会会議規則の一部改正 原案可決
- 議員が出産の場合の欠席届出についての一部改正

～報告～

- 平成29年度藍住町一般会計繰越明許費（※1）繰越計算書の報告
繰越総額 1億5,800万円
- 平成29年度藍住町一般会計継続費繰越計算書の報告
繰越総額 25億9,200万円
- 藍住町土地開発公社の経営状況を説明する書類の提出

※1 繰越明許費とは？

特定の事業や特別の事情(天候の都合など)で、年度内にその支出を終わらない見込みのあるもので、予算で定めることにより、翌年度に繰り越して使用できる経費(地方自治法第213条)。
町長は翌年度の5月31日までに繰越計算書を調製し、次の会議においてこれを議会に報告しなければならない(地方自治法施行令第146条)。

～諮問～

- 人権擁護委員候補者の推薦 天谷法祐氏・伊祁鈴子氏

町からの主な報告

○(仮称)藍住町文化ホール・公共施設複合事業
現在、緑地広場及び駐車場整備の設計業務に着手しており、竣工に向けて予定どおり進捗している。

○「健康ウォーキングポイント事業」
65歳以上で要介護認定を受けていない高齢者の方に対して、「健康ウォーキングポイント事業」を開始。ゆめタウン徳島店内で一定以上の歩数をウォーキングした場合にポイントを付与し、ポイントを貯めることで、ゆめタウン商品券と交換できる。6月1日現在で238名の申込みがあった。

○勝瑞城跡整備事業
昨年度末に第Ⅰ期整備工事が完了。引き続き、第Ⅱ期整備工事も進める。
勝瑞城跡南側の県道松茂吉野線沿いのテナント跡地は、広場空間として整備し、ベンチや説明板の設置の計画を進めている。併せて、勝瑞城跡の樹木の剪定や濠の清掃を行い、景観、環境の整備を進める。



整備予定のテナント跡地
(勝瑞城跡南側)

高齢者の交通弱者に対する 支援策の進捗状況は

計画策定に向け調査研究をしていく



徳元 敏行 議員

問 高齢者等交通弱者に対する支援策の検討会、研究会等は開催したのか。

また、県の指針が平成31年に出されるとのことであるが、町はいつから実施するのか。

答 地域公共交通ネットワークを構築できるよう、事業者と協力しながら公共交通の確保に努め、町内を循環するバスやデマンド方式のバスなど、多様な公共交通システムについて調査研究を実施していく。

また、平成31年に県が策定する、次世代地域公共交通ビジョン等に基づき早期に計画策定を進めたい。

自主防災組織設立に対する支援は

結成促進交付金として3万円を補助

問 自治会による自主防災組織育成について、自主防災組織設立における支援策は。

答 結成までに掛かる事務費や会議費を想定し、結成促進交付金として3万円の補助を行っている。また、防災用資器材を整備するにあたっては、最長3年間で初期整備の計画を立ててもらい75%の補助を行っている。

問 自主防災組織の事務所、会議室、備蓄庫になる集会所の修繕支援策は。

答 教育委員会が主管課となり、集会所の新築、改造、修繕に対して掛かる費用の2分の1を補助している。補助金の上限額は、新築工事200万円、改造工事100万円、修繕工事50万円。

問 災害時の自助・共助の活動のみならず、日頃から地域活性化、住民

間の信頼、きずなの形成等、子供たちの安心・安全な住環境づくりと活動範囲は多岐に及ぶ。
自主防災組織に対する支援策が総合的に対応できない縦割り行政で可とするのか。総合的な支援策が必要であると強く要望する。

答 今後、地域活性化につながるような方策があれば、検討していきたい。



防災用資器材を整備している春日自主防災会倉庫

子供の貧困対策への取組

アンケート調査を実施し、必要な対策を検討



西岡 恵子 議員

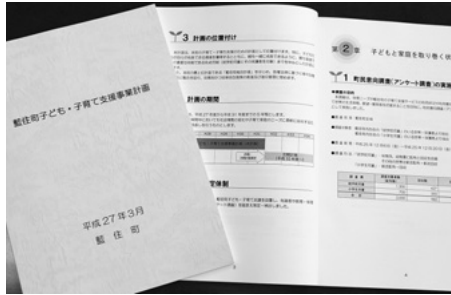


問 国において、生まれ
た家庭環境によって
子供の将来が左右されるこ
とがないように、子供の貧
困対策に積極的に取り組む
法律や大綱が策定されてい
ます。しかし、7人に1人
の子供が貧困状態で、貧困
の世代間連鎖が生まれ、社
会的損失が将来発生すると
言われています。

本町もより良い子育て支
援・子供貧困対策のため
に、早急に生活実態調査を
し、貧困の連鎖を断ち切る
対策が必要と考えますが、
その取組を尋ねます。

答 子育て家庭への経済
的支援として、子供
の医療費助成、乳児を養育
されている世帯へのごみ袋
の無償配布、多子世帯の保
育料や幼稚園授業料の軽
減、経済的理由で就学困難
な児童生徒に対する就学援
助などの支援を行っている
。

現在の「藍住町子ども・
子育て支援事業計画」は、
期間が平成31年度までとな
るため、次期計画策定に向
けて子育て世帯に対するア
ンケート調査を行い、どの
ような子育て支援や貧困対
策が必要かを検討する。



平成27年3月に作成された「藍住町子ども・子育て支援事業計画」

就学援助制度への取組

平成31年度から中学生を対象に実施

教育長就任の抱負

活力のある学校と人権文化に満ちたまちづくりに取り組む

問 4月1日より教育長
に就任され、2か月
余りたった今、本町教育に
対する目標・抱負について
尋ねます。

子供たちを取り巻く育ち
の環境は、目まぐるしい社
会情勢の中、急激な変化を
受け、価値観や生活様式も
多様化、人間関係の希薄化
等問題山積です。教育は未
来への投資としての教育長
の取組に期待します。

答 学校教育では「学校
の安心・安全の確
保」、「学力向上」、「校
種間及び学校と地域との連
携」、「学校の重点目標の
発信と共有」、また、社会
教育では「人権文化に満ち
たまちづくり」、「町の文
化活動の活性化」、「体
育、スポーツの振興」等、
広くアンテナを張って優先
的課題から取り組んでいき
たい。

問 子育て環境は、急激
な社会変化の中、経
済的にも影響を受けてお
り、特に新入学時には保護
者の経済的負担も多く、早
急に支援への取組が必要で
す。平成31年度から新入学
児童生徒学用品費の入学前
支給について準備を進めて
いるようですが、その内容
と進捗状況について尋ねま
す。

答 中学生1人当たり4
万7400円で、対
象者は50人程度を予定。必
要経費については12月補正
での対応を考えている。
小学生については今後検
討したい。

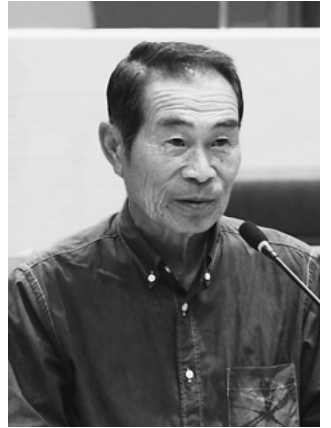


その他の質問

○防災について

町長の公約「人にやさしいまちづくり」とは

高齢者の拠点施設の改築を考えている



矢部 幸一 議員

問

高齢者活動拠点施設の整備について、現在、老人福祉センター「藍翠苑」の浴場が使用不可となり長年が経過し、利用者から再開の要望もあると思うが、今後の整備について、どのように取り組んでいくのか。

答

藍翠苑の入浴設備については、利用者の減少や機械の故障のため平成23年から利用を休止しており、現在、管理・運営は社会福祉協議会に委託し、カラオケ、囲碁、将棋、生け花などの高齢者の方のクラブ活動や健康器具の利用等で高齢者の方の拠点施設となっている。

これから本町においても高齢者人口は増加することが予想されており、高齢者の皆さんの生きがいづくり

や健康づくりのためにも藍翠苑の改築は早急に取り組まなければならないと考えている。

問

近隣の市町には、温泉施設が整備されており、憩いの場として多くの方が利用されている。「人にやさしいまちづくり」の一環として整備する考えはないのか。

答

現在、行財政改革を推進しているところであり、町が事業主体となつての施設整備は考えていない。

しかし、公衆浴場等は地域住民の憩いの場として有益性の高い施設であると考えており、民間の事業者が町内に新店したいとの申し出があった場合は、出店に対する支援を行いたい。



藍翠苑は
高齢者の方たちの
憩いの場

町政のここが聞きたい

ふるさと納税実績一覧表

年度	件数	金額
29	42	1,565,000円
28	22	250,000円
27	7	920,000円
26	10	50,000円
25	8	43,000円

答 別表参照。
インターネット等の窓口を増やす。

問 過去5年間のふるさと納税の実績と、今後増やすことを考えているか。

ふるさと納税について
インターネットで検索できる窓口を増やす



小川 幸英 議員

ふるさと納税 町民による他市町村への寄附一覧表

年度	件数	金額
29	360	33,705,000円
28	193	18,772,000円
27	75	4,183,000円
26	15	662,000円
25	2	210,000円

答 今年度から若手職員を中心としたプロジェクトチームを設置。

問 他市町村で増えているところを参考にし、取り組んでどうか。

ごみ対策について

廃プラスチック類の収集日を増やすことは厳しい

問 本町のごみ焼却場の耐用年数と今後の方針は。

答 耐用年数は50年で、建設後36年が経過。耐震補強工事を実施し、施設の延命化を図る。

問 過去5年間のごみ収集の推移は。

答 家庭系燃やせるごみは平成25年度5851t、26年度5993t、27年度5965t、28年度5808t、29年度5869t。

問 資源ごみの回収で昨年度どれだけの収益があったのか。

答 合計で834万2450円。

問 大型ごみの高齢者対策についてどのよう

答 状況を確認後、町職員が自宅まで回収に行っている。

問 資源ごみの再利用について今後自治会等に呼び掛けてはどうか。

答 情報提供はできるが、組織の判断で決定してもらいたい。

問 新しくできる団地等は開発業者に対してどのように指導しているか。

答 ごみ籠の設置は藍住町土地利指導要綱に基づき、西クリーンステーションが指導。

問 各学校で出る生ごみの量は多いと思うが生ごみ処理機を導入して堆肥化してはどうか。

答 他市町の状態を参考に検討。

問 月1回燃えないごみ廃プラスチック類を収集していない週がある。毎週収集してほしいとの町民の声が多いが収集できないか。

答 ガラス類等の収集ができないため、収集日を増やすことは厳しい。

高齢者対策について

高齢者の孤立化を防ぐ取組を推進

問 本町の高齢者一人世帯数とその支援策は。

答 65歳以上の一人世帯数は505世帯。民生委員等による見守り活動を実施。

問 現在、認知症の対象者は何人いるか。その支援策は。

答 別表A参照。いきいきサロンやいきいき百歳体操等を実施。

問 認知症の早期発見早期受診の取組は。

答 認知症初期集中支援チームと認知症地域支援推進員と連携し支援。

問 認知症サポーターの現状と取組について、現在何人いるか。

答 別表B参照。

その他の質問

○文化ホールについて

問 小中学校での認知症への取組や、養成講座等取り組んでいるか。

答 平成28年度から毎年小学校での認知症サポーター養成講座を開催している。

別表A 平成30年3月末現在

要支援・要介護認定者数	1,400名
要支援・要介護認定者数のうち認知症の判定を受けている方	904名

別表B 平成30年5月現在

キャラバンメイト	86名
認知症サポーター	2,413名

高齢者対策について

様々な角度から調査研究する



西川 良夫 議員

問

高齢化に伴い運転免許証の返納により、高齢者の移動手段がないなどの悩みが増加している。外出しやすいうちに、町内限定のタクシー半額割引や、70歳以上の高齢者を対象に、徳島バスの無料チケットなどの支給を提案する。

答

高齢者の移動確保は、今後ますます重要な課題であると認識しており、実現には様々な問題がある。

他団体の取組状況、民間事業者の動向、財政の状況等を考慮し、本町に適した交通体系や社会情勢に合わせた利用者の利便性の向上、交通事業者など関係機関と連携しながら、地域公共交通網形成計画等策定に併せて様々な角度から調査

研究する。

問

入院期間の短縮などで自宅に帰った場合、医療、介護両方の対応が必要になる。医療ケアは多業種が関係しており患者の病気が今後どのように変化するか等の情報は、介護スタッフにも共有されていない。互いの情報共有は不可欠だと思いが現状はどうなのか。

答

本町では、地域包括支援センター設置以降、医療と介護に係る相談業務を行っており、介護に係る医療機関からの相談等は年々増加している。今後、高齢化の進展に伴い、ニーズが増加していくことが想定されるため、行政機関、医療機関、介護事業所の連携を一層密にし、切れ目のない在宅医療と在宅介護の情報提供体制の構築、情報の共有支援や相談支援、町民への普及啓発など連携が円滑に行われるよう、取組を推進していく。



居宅介護支援事業所から相談を受ける包括の職員

中小企業支援について

導入促進基本計画を作成中

問

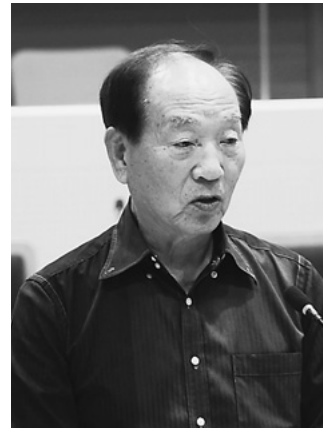
中小企業が新たに導入する設備にかかる固定資産税を自治体の判断で3年間、最大ゼロにできる特例措置を盛り込んだ「生産性向上特別措置法」が成立した。同法は、中小企業の設備が老朽化し、労働生産性が伸び悩んでいることを背景に、中小企業の積極的な設備投資を後押しすることで、生産性の飛躍的な向上を進めるのが目的である。市町村は、中小企業が年率3%以上の労働生産性の向上を見込む新規の設備投資をするときは、導入促進基本計画を作成し支援することになっている。現在の推進状況と今後の取組を伺いたい。

答

導入促進基本計画は、設備の種類、対象業種、事業等について町独自の判断でできるため、幅広い事業者に対応できるよう、現在、作成中である。完成後は、国と協議を行い、国の同意を得た後、商工会と連携し、制度の周知を図る。

憲法に対する政治姿勢は

趣旨を常に胸に刻み遵守する



林 茂 議員

問

憲法99条は、「天皇又は摂政及び国務大臣、国会議員、裁判官その他の公務員は、この憲法を尊重し擁護する義務を負ふ。」15条2項では、「すべて公務員は、全体の奉仕者であつて、一部の奉仕者ではない。」と定められている。行政は、中立・公平・透明性の確保が必要だ。町長の見解は。

答

憲法及び地方公務員法の趣旨を常に胸に刻み遵守することは、公務員として当然のことであり、職位階級に応じて、随時、職員研修を実施し、継続的に意識付けが図られるよう指導を行っている。今後とも、高い倫理観を持ち町民福祉の向上のため、日々業務に精励していく。

子育て支援

町の実情に応じた子育て支援に取り組む

問

板野町では保育料を無料化。石井町では2人目から無料などの取組をしているが、町で実施した場合の必要な予算額は。また、石井町は1人目から3万円の出産祝い金も支給。町も検討を。

答

全ての保育料を無料化した場合、約1億5400万円、2人目から無料化した場合、約3100万円が必要。出産祝い金については、町の実情に応じた子育て支援に取り組む。

問

未婚のひとり親は、婚姻歴がないため寡婦控除が適用されず、保育料等が高くなっている。内閣府は寡婦控除のみなし適用を始めるが町の対応は。

答

今後の子育て支援や福祉サービスの拡充のため、既に実施している自治体の取組について研究していく。



藍住町立中央保育所



地域経済活性化対策

国からの通知内容を十分に守るよう指導していく

問

国は、建設従事者の後継者不足解消へと、6年連続、設計労務単価を41%引上げたが、賃金が未端まで届いていない。指導と実態調査をすべきでないか。

答

国からの通知内容を十分に守るよう指導していきたい。また、積算された賃金の支払いについては、契約書の指導事項の中に記載されており、その内容について指導をしていく。

問

町発注工事で随意契約、指名入札の状況は。せめて町内業者を8割ぐらいにすること。

答

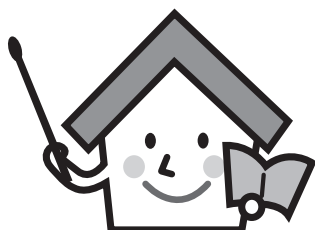
平成29年度は、随意契約発注割合54.2%、請負金額割合26.3%、指名入札発注割合46.3%、請負金額割合54.5%。

答

県の助成制度である「住まいの安全・安心なリフォーム支援事業」をまずは進めていきたい。

問

住宅リフォーム助成制度は、県内11自治体で実施。実施自治体の経済効果などを調査し、町も実施すべきだ。



議員研修報告

（仮称）藍住町文化ホール・公共施設複合化 事業建設工事の現場視察を行いました



6月19日、定例会閉会后、全議員で現場視察を行い、2階部分の躯体工事が施工されているのが確認できました。その後の

藍住町総合文化ホール特別委員会の中で、巨大地震が発生した場合の耐震は大丈夫かとの質問があり、耐震設計は基準を満

たしているの心配ないとの回答でした。今回の現場視察は9月に行う予定です。

鳴門市議会議員研修会に参加



8月1日、鳴門市議会議員研修会が鳴門市うずしお会館で開催され、本町議会から10名の議員が参加しました。
同志社大学政策学部・大学院総合政策科学研究科教授・新川達郎氏より「災害発生時における議会・議員のあり方」と題して、講演が行われました。

徳島県町村議会議員研修会に参加

8月8日、徳島県町村議会議員研修会が徳島グランヴィリオホテルで開催され、本町議会から15名の議員が参加しました。研修会では次の方々による講演が行われました。

★日本放送協会解説委員長 島田 敏男 氏

「安倍政権の今後と政局の行方」

★東京財団政策研究所研究員 柯 隆 氏



「秋の安倍首相の訪中に向けた日中関係の新展開 ― 習近平の国際戦略の内実」

定例会案内

本会議を傍聴しませんか

次の定例会は9月です。

（定例会日程については9月1日からホームページで掲載予定です。そちらをごらんください。）

次号は11月に発行します。

詳しくは議会事務局まで
お問い合わせ ● 議会事務局 637-3127

編集委員会では、町民の声の投稿を募集しています。議会や町政に関する御意見をお寄せください。

投稿規定

- ①住所・氏名・電話番号を明記。
- ②掲載時に匿名を希望する方は申し出てください。
- ③字数は500字以内。
- ④投稿者の多い場合には、掲載月を調整する場合があります。

わたしの一言

住吉 石田 望美さん

～花と緑と太陽の町を目指すために～

「花と緑と太陽の町」このキャッチフレーズ、どこか違和感があるような。思っているのは私だけだろうか。

海と山に挟まれた小さな町、由岐町（現在の美波町）で生まれ育った私にとって、結婚後、居を構えることとなった藍住町は、便利で住みよい町でもあった反面、毎日目の前にする正法寺川のイメージは、正直、私の思う川とはまるで違ったものだった。

ある時、新聞を見ていると正法寺川で船に乗った人たちの写真が目にとまった。地域住民が清掃活動に取り組んでいることに心を打たれ、自分がするべきことはこれだ。と思い、今では私たち家族も楽しく参加している。

この活動のメンバーの1人でもある、藍住町に移住して40年になる知人は「越してきた当初は正に花と緑と太陽の町そのものだった。」と話す。私の目にもその風景が浮かんでくる思いがした。人々の生活に潤いを与える宅地開発は進む一方だが、その行為に伴って緑の保全は失われていく。「花と緑と太陽の町」を維持していくためには、それらの生育場所を確保していく必要がある。

住民たちの手で花と緑を増やしていける手助けができるのであれば、是非、参加したいものである。



議会のうごき

5月

2日 議会改革調査特別委員会
(作業部会)

8日 議会だより編集委員会

13日 板野郡町議会議長会定例会
(板野町)

18日 勝瑞城館跡まつり

21日 藍住中学校体育祭

23日 商工会通常総代会

28日 議会運営委員会

28日 議会改革調査特別委員会

27日 福寿連合会定期総会

24日 徳島環状道路建設促進期成
同盟会 (徳島市)

28日 シルバー人材センター定時総会

28日 板野東部消防組合議会臨時会
(北島町)

28日 全国町村議会議長・副議長
研修会 (東京)

6月

3日 町民一斉避難訓練

5日 6月議会定例会開会

6日 議会運営委員会

13日 議会全員協議会

13日 観光物産協会通常総会

13日 6月議会定例会一般質問

17日 板野郡消防操法大会(板野町)

19日 6月定例会閉会

17日 議会運営委員会

25日 藍住町総合文化ホール特別
委員会

27日 松茂町正副議長就任挨拶

29日 徳島市正副議長就任挨拶

29日 藍住町学校給食運営審議会

29日 板野防犯連合会総会
(板野町)

1日 板野東部消防組合消防団放水

27日 技術競技大会 (北島町)

27日 徳島県後期高齢者医療広域
連合議会全員協議会(徳島市)

28日 商工会納涼祭

7月



インディゴブチコレクション2018
(ゆめタウン 7・22)

編集後記

9月1日は防災の日、防災・減災への備えは十分でしょうか。

7月初旬、活発な梅雨前線による西日本豪雨は、史上まれに見る記録的豪雨となり各地で甚大な被害をもたらしました。専門家は、「異常気象による一過性のものでなく今後も引き続き起こる、備えが必要。」と云っています。

今後30年間の南海トラフ地震の発生確率も、従来の70%程度から70%80%へと引き上げられました。

甚大な被害を小さくするためには、日頃からの危機意識と災害への備え、いざの時には確かな情報の入手が大切です。今一度、確認を。
(西岡 恵子)

議会だより編集委員会

委員長	矢部 幸一
副委員長	西岡 恵子
委員	安藝 広志
委員	徳元 敏行
委員	林 茂